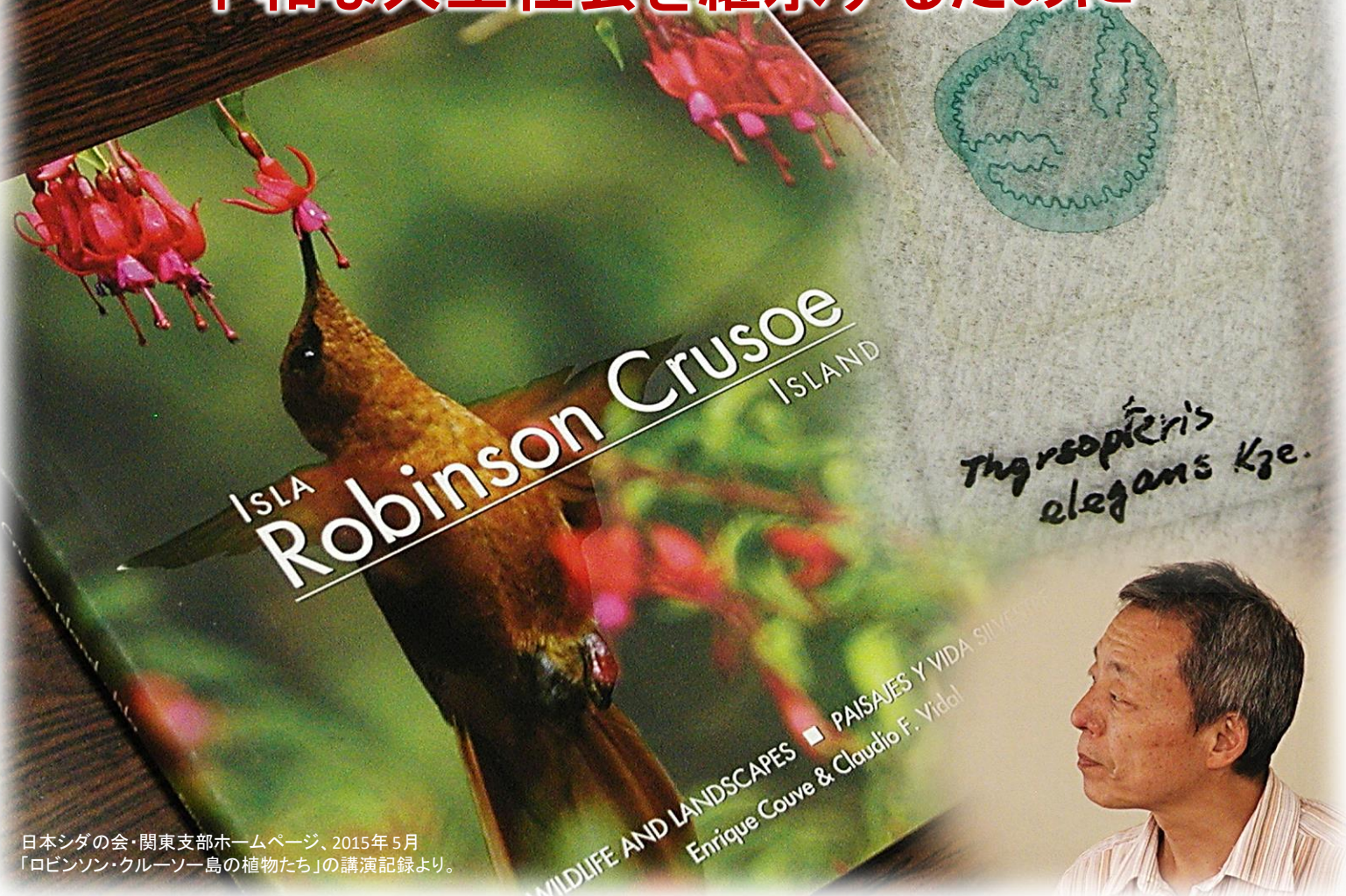


自然誌博物館の存在意義

— 平和な共生社会を継承するために —



日本シダの会・関東支部ホームページ、2015年5月
「ロビンソン・クルーソー島の植物たち」の講演記録より。

講師

中央大学 理工学部生命科学科 教授
千葉県生物学会会長・千葉県博物館協議会委員

西田 治文

開催日時

2019年 **11月14日** (木)

午後 1 時 ~ 3 時

会場 (聴講無料)

千葉県立中央博物館本館講堂

講師紹介・コーディネーター

放送大学客員教授・

元千葉県立中央博物館副館長 **中村俊彦**



中国遼寧師範大学古生物学博物館の恐竜の展示

主催：NPO法人 千葉自然学校 千葉シニア自然大学



問合せ & 受付窓口 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル7F
電話 043-227-7103 FAX 043-202-7237 E-mail senior@chiba-ns.net

後援：千葉県・千葉市

自然誌博物館の存在意義 — 平和な共生社会を継承するために —



2017年南極での化石調査

中央大学 理工学部生命科学科 教授
千葉県生物学会会長・千葉県博物館協議会委員 **西田 治文** にしだ はるふみ

1954年(昭和29年)千葉県千葉市生まれ、千葉市在住
1979年千葉大学理学部大学院修了、京都大学理学博士

専門: 植物系統進化学, 古植物学

受賞: 日本古生物学会学術賞, 日本植物分類学会賞, など

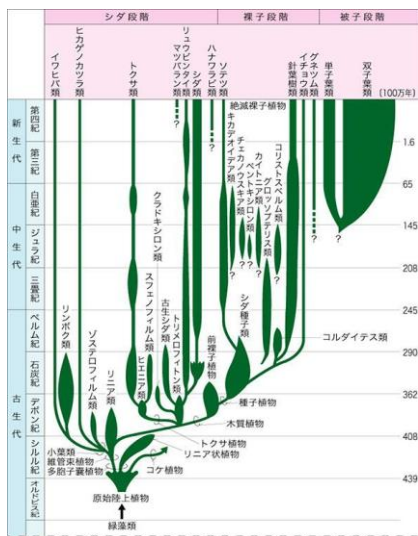
主要著書: 「化石の植物学-時空を旅する自然史-」東京大学出版会, 2017.

「温暖化と生物多様性」(共著) 築地書館, 2008. 「シリーズ進化学1 マクロ進化と全生物の系統分類」共著, 岩波, 2004. など

その他: 前記のほか日本学術会議連携会員, 生物多様性JAPAN 幹事, など



アデリーペンギン



西田治文先生による植物系統進化の図



西田治文先生たちが中心になってまとめられた国への提言書



アルゼンチン, ラプラタ博物館の恐竜展示



パリ自然史博物館前庭のフオン像



オーストリア国立自然史博物館の脊椎動物上陸の展示



千葉県立中央博物館本館への交通アクセス

- ・千葉駅東口の7番乗り場から京成バス「千葉大学病院」、「千葉大学病院。南矢作」行き、6番乗り場からちばシティバス「川戸都苑」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩7分。
- ・蘇我駅東口2番乗り場から小湊鉄道バスまたは千葉中央バス「大学病院」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩6分。
- ・京成千葉寺駅から徒歩約20分蘇我駅からのバスは千葉寺駅経由)
- ・車で京葉道路「松ヶ丘」インターから大綱街道を市街地方面へ。県立青葉の森公園北口駐車場を目指す。